

みどりの掲示板

秋バラは10月下旬が見ごろ

濃い色と香りをご自由楽しんで



▲大きなバラのゲージに見とれる園児たち

5月に開催された春の栗生外院バラ祭は2日間でおよそ1000人が訪れ、ブルー・シャトーやピエール・ド・ロンサヌなど60品種240株のバラを楽しみました。

今年は鑑賞用のリーフプランツや花にちなんだ女優の写真がバラを一層引き立て好評でした。バラ苗やグッズの即売も人気を集めていました。

秋バラは10月中旬から11月上旬にかけてが見ごろで、春より花は小ぶりですが、色が濃く、香りもいいそうです。

オーナーの久保ノリ子さんは「品種によって咲く時期が異なりますが、オープンガーデンですので、いつでもご自由にご覧下さい」と言っておられます。

花に誘われ
パーマを...

おしゃれな美容院



モッコウバラに覆われた「くろうど」

箕面

美容室のお客さんはほとんど女性だけでなく子ども花やみどりで飾っています。箕面駅すぐ東の美容院「くろうど」も季節の花が2階から店全体をすっぽり囲むように咲いています。春はモッコウバラ、アジサイ、夏はフジウツギ、黄色が鮮やかなルドベキア...「プラットフォームから見たので」とお店を訪れるお客さんもいらっしゃるとのことです。北川ひさみさんは15年前にオープンして以来、花を絶やしたことがないそうです。

一方、西小路3の「樹」の店先には大きなプランターや鉢、ハンギングバスケットにペチュニア、インパチェンス、マンデビラ、コリウス、千日紅があふれるように咲いています。お店の井窪三枝さんは「お花を楽しみに来られているお客さんもおられます」と、話しています。



さまざまな花鉢で店先を飾る「樹」

西小路

Column

オープンガーデンに 挑戦しませんか

近郊都市で広まっているオープンガーデンには2つのタイプがあります。個人の庭園を公園のように年間を通じて一般に開放しているケースと、期間を限って地域ごとに一斉に自宅の庭を開放、花やみどりを巡りながら楽しんでもらおうというケースです。

栗生外院バラ祭の会場となっているKガーデンなどは前者、堺、宝塚市内などで春に開催されているオープンガーデンフェスタは後者のケースです。個人の庭園を開放し訪れた人たちが花とみどりでてもなすというイギリスに端を発した素晴らしい習慣です。このうち、面での広がり期待できる期間限定式のオープンガーデンに、箕面市でも挑戦しようじゃないですか。

箕面市の場合、公園協会という市の外郭団体の呼び掛けで14年前にわずか4軒でスタートしました。それが今年は3地区で55軒のお宅が4、5月上旬に2〜4日間庭園を開放し800人以上の人がお庭めぐりを楽しみました。箕面市には公園協会がなく、「NPO花とみどりの街づくり・箕面」(090-49001-6696)が検討をはじめているそうです。いいアイデアがあればお寄せいただきたいのです。

サポーター
大募集!!

「みどりの街しんぶん」は、花とみどりあふれる箕面にしようと、年3回発行しています。近くにこんなきれいな花が咲いているよ、緑のすてきなスポットがあるよ、などの情報をどんどんお寄せください。

情報ご連絡先 shimin.puroj.midori@gmail.com 090-5651-0259 (佐藤まで)

ホームページ みどりの街みのお 検索!

このしんぶんは箕面市の「まちなかのみどり支援事業」の助成を受けています。編集協力：NPO法人 花とみどりの街づくり・箕面(プロジェクトみどり 改め)



みどりの街しんぶん 第11号 平成27年9月発行 発行：「みどりの街しんぶん」編集委員会 E-Mail：shimin.puroj.midori@gmail.com 連絡先：090-5651-0259(佐藤秀代)

二中

花いっぱい プロジェクト

PTAや地域、 行政が連携

市立第二中学(若狭周二校長)では、PTAや地域の住民が行政と連携し「花いっぱいプロジェクト」を展開、学校内外に花とみどりを広げています。また生徒たちも毎年ボランティアで川の掃除や公園の花壇づくりに取り組んでいます。

校門や校庭、学校周辺に毎年植樹したり花苗を植えているのは黒田佳子さん、山田紀子さんらPTAやそのOBら住民10数人の「花の会」。3年前からはこのグループを池田土木事務所がバックアップして「花いっぱいプロジェクト」を展開してきました。



▲校門すぐそばにはパンジーの花壇も...

花と緑あふれる箕面に...

第11号

平成27年9月発行



▲道いっぱいに四季折々の花が咲き揃う「花の小道」



▲花の手入れをする新生自治会の人たち



「花の小道」

表彰常連のフラワースポット



西宿2の新生自治会「花の小道」は国道171号線と新御堂筋線の萱野交差点南東約100mにあります。第1回花とみどりの街角表彰で奨励賞に輝き翌年も連続して奨励賞をとっています。5年前には国交省提唱の「全国花のまちづくりコンクール」にも入選を果たした表彰常連のフラワースポットです。

幅2m長さ100m足らずの文字通りの小道ですが、ジニア、ペゴニア、ホリホック、ストック、アジサイなどさまざまな花々が両側から道におおいかぶさるように咲いています。10数人の仲間と30年以上も世話をし続けている上岡ミヨ子さんは「1月から12月までとにかく花を絶やさないようにしています。近所のお子さんが“僕のまちの秘密基地”と言って先生や友達をクラスごと連れてきて自慢してくれているのがうれしいです」と話しています。

「ちびっこも田植え体験」



泥まみれながらも楽しそうに田植えをするちびっ子たち

白島の田んぼで6月6日朝、ざっと130人の市民や親子連れが田植えを体験しました。農家の皆さんのご苦労を実感しながら田園風景を楽しんでもらおうと、箕面市の呼びかけで毎年行われています。田んぼに足をとられそうになりながら、1列に並んで苗を3～4本ずつ30cm間隔で植えていました。

お父さんと一緒に初めて参加した、戸島明日香ちゃん(6歳)は「はじめは転びそうで怖かった。でも田んぼが温かくて楽しかった」と泥だらけになりながらもうれしそうに話していました。秋には稲刈りも体験できるそうです。



▲道路から庭が見渡せるおしゃれな小野原東の住宅街 遊歩道わきのヒペリカム▶

小野原東

第7回お花の街めぐりは5月末、瀟洒な住宅が建ち並ぶ小野原東5～6丁目一帯で行われました。

なかには垣根がなく道路から直接お庭が見えるお宅もあり、20人の参加者はビワ、ザクロ、キンカンなどの果実がたわわにみのった様子やカシワバアジサイ、カルミア、ヒペリカムなど色とりどりの可憐な花を堪能しました。また南北に続く広い遊歩道には、

アルペンブルーやヒルザキ月見草など初夏の草花が足元を撫でるように咲き乱れていました。

「スマートなお庭巡り」

ヒルザキ月見草、カシワバアジサイ、ヒペリカム……

情報プランター

箕面川・石澄川合流点の河畔林保全へ

2年前の地域のシンボル・センダンの大木の伐採を契機に、地元9自治会と連携し“住みよい環境づくり”を目指し活動する住民組織「瀬川 親水・散策の場をつくる会」(代表世話役・川端常樹さんら)は、箕面川・石澄川合流点付近の河畔林のあり方についてこれらを管理する大阪府池田土木事務所や直接の利害を受ける近隣居住者などを交え数回のワークショップ(会合)を開き話し合ってきました。

その結果、この7月に瀬川神社や瀬川北公園の樹林につながる河畔林は全体として保全し、護岸に影響し治水面などで問題のある数本に限って伐採・せん定するとの合意に達しました。今後は、緑を生かし散策路の整備などに取組みます。



第2期「花とみどりの学校」～来年2月からスタート

第1期「花とみどりの学校」はこのほど「園芸基礎コース」を終え、修了生の皆さんの多くはこの秋のフォローアップ講座(中級コース)へ進みます。

これを受けて同学校運営委員会(校長・甲角裕子さん)では引き続き来年2月から12月までのスケジュールで、第2期「花とみどりの学校」の「園芸基礎コース」を開校します。

現在、カリキュラムを一層充実させるよう検討しており、この秋半ば頃から生徒を募集するとのことです。

第2期 花とみどりの学校ー園芸基礎コースの概要

全9回 (月1回)2月～12月の土曜日午後(8月はお休み)
★1回は自由参加の見学会
「講義」「実習」でよく分かり身につくよう工夫。
※箕面市に住所・職場・活動先(ボランティア活動等)・通学先のある方 ※高校生以上
受講料: **3,000円** (一部授業の寄せ植え実習などの材料費は別)
定員: **20人** (申込順)
お問合先: 同学校事務局 (090-4901-6693)